

私に夢をくれる家族

大竹美恵子 65歳

若い頃は夢がありました。今は、家族の健康と孫の成長が何よりの幸せです。人は一人では何にもできません。家族みんなで支えあい、地域みんなで支えあい生きていると思います。私があなたにできることは喜びでもあり、私の役割、居場所です。いつか大人になったら、その感謝の気持ちを自分の子どもや地域の未来の子ども達に返してください。人は一人では生きていけません。家族や友だち、出会った方々と力を合わせて自分の人生を切り拓いてください。



II 市民協働 story II

協働の一番はじめのとりかかりである、「自助、共助」の部分です。彼女は中学3年生の時、中之島中学校で開催した協働を考えるワークショップに参加してくれました。今は高校生。彼女とご家族の気持ちは、多くの人が共感できると思います。普段、言葉にして感謝することは少ないです。改めて考えることで、家族の優しさや思いやりが自分を支えてくれていること。だから、力強く生きていけることが家庭内の自助です。そして基盤があるからこそ、人に優しくでき、共助へ発展できるのではないのでしょうか。人がそれぞれ熱い思いで生きることが、まちづくりを発展させる第一歩です。そして、大人が次世代を担う子ども達へと未来を託す「人材の育成」に繋がるはず。



私の夢を支えてくれる人たち

大竹美咲 16歳

私は生まれも育ちも中之島。田んぼが広がる空気の澄んだ自然豊かなふるさと。中学から始めた吹奏楽。サクソとの出会いが私を変えた。今も音楽の道一筋。おじいちゃん、おばあちゃん、いつも送り迎えありがとう。お父さん、お母さん、高い楽器をプレゼントしてくれてありがとう。一緒に演奏している友だち、先輩、優しさ厳しさをありがとう。導いてくれる先生たち、私に音楽と勉強を教えてくださいましてありがとう。私は一人じゃ何にもできない。みんなのおかげで夢を追える。いつか大人になって夢をかなえ、必ずみんなに優しさを返します。今は精一杯、音楽で社会に貢献できるよう、夢を追い続けます。